

“標準化・認証”を 事業に 活かす 虎の巻

支援策、まる分かりガイドブック

平成29年度版

自社技術が際立つ規格を作りたい、海外で勝負したい、
頼れる社員を育てたい、地域の中小企業を支援したい、方々に

オススメしたい
支援策があります

「下町ロケット」 神谷弁護士モデル 鮫島正洋氏も推薦



標準化・認証をビジネスの味方に！

鮫島 正洋
弁護士法人内田・鮫島法律事務所
パートナー弁護士・弁理士

画期的な技術αを開発したので新規顧客に営業に行きました。「今般、当社が開発した技術αにより、普通では考えられないほどの画期的な応答特性と寿命を両立しました。」という営業トークをするのですが、なかなか採用してもらえないことでしょう。画期的な技術であればあるほど、比較対象となる従来品が存在しなかったり、比較のための試験方法が確立していないからです。もし、技術レベルが高いことを認証してくれる規格や標準的な測定方法が確立していれば、以下のような営業トークができるようになります。「今般、当社が開発した技術αにより、JIS ●●という規格のグレードAを保証できます。」これで成功しない営業はないのではないのでしょうか。

そうは言っても、自社技術にまつわる規格を作ることなんてできるのでしょうか。このような中小事業者の想いを実現するために、経済産業省は新市場創造型標準化制度を整備しました。この制度を活用すれば、規格の原案作成や資金面のサポートが得られ、経験・資力の乏しい中小企業でも円滑に自社技術の標準化を進めることが可能となります。同省による標準化にまつわるサポートはこれだけではありません。相談制度、セミナーなど、国内外の標準化に関して多岐にわたるメニューが用意されています。例えば、以下のようなケースで皆様方のお役に立てることでしょう。

- 自社の独自技術に基づく製品を市場に速やかに普及させて売上を伸ばしたい。
→ 標準化とそれによるブランド戦略を活用することによって達成可能です。
- 海外市場へ参入するためには、その市場における認証の取得が条件となる。
→ 専門家によるアドバイスや、各国の基準・規制情報提供等の支援策が用意されています。

このパンフレットには、様々な標準化・認証取得関連のサポートが記載されています。これらを活用して、皆様のビジネスの成功につなげていただければと思います

認証取得により期待される効果

自社技術・製品や組織の信頼性を第三者である認証機関が保証することで、市場での差別化・売上増加が期待できます

例) JIS認証取得後、信頼が得られ、JISマーク表示品の売上げだけでなく、JISマーク非表示品の売上げも伸びた



海外取引先の要求事項や現地規制に適合していることを示すことができるので、海外へ輸出しやすくなります

例) 米国企業から引き合いを受けたが、商談が進む中で、先方からUL規格の認証取得を求められた



標準化により期待される効果

自社技術・製品のスペック・性能を見える化することで、市場での差別化・売上増加が期待できます

例) 滲みにくいインキを開発したA社は、「ボールペン」の性能評価方法を標準化し、「滲みにくさ」という項目を入れたところ、売上げが伸びた



標準化は技術を普及しやすくするため、新しい市場を立ち上げるのに役立ちます

例) 新技術を開発した中小企業のB社は、自社試験のみでは営業先の信頼が得られなかったが、標準化後は、多数の問い合わせが入るようになった



一定の水準の品質基準を標準化すると、低品質品を排除できます

例) 外国製の低価格・低品質品に押され、売上げが低迷していたが、品質基準の標準化後、売上げが回復した



互換性を確保できるので、部品等の調達コストを削減できます

例) 自社製品の強みのある技術は秘匿化し、それ以外の部分を標準化したところ、部品を作る企業が増え、調達コストが削減でき、浮いた資金を強みのブラッシュアップに投入できた



認証を取得したい 企業の方

①ニーズを一言で

②支援
概要

③費用

④支援に要する期間/時間

⑤オススメのご利用時期

● 専門家によるサポート

A1 輸出に際し、どの認証を取ると良い？取得方法は？

JETRO 新輸出大国コンソーシアム

無 料

面 談 1 ~ 2 h

い つ で も

海外展開に必要なUL、CEマークなどの国際認証やFDAの承認等の取得に豊富な経験をもつ専門家が、認証取得の要否、取得方法などについて支援・アドバイスを行っています。

※JETROによる日本企業の海外展開に関するワンストップ支援サービスの一環

海外展開フェーズに即した 専門家

海外展開戦略策定段階（審査なし）から、事業計画策定、実行段階（審査あり）まで、フェーズ別に、各国・地域事情、実務に精通した専門家が支援します（全産業対象）。

パートナー

海外展開戦略策定支援

重点産業を支援する専門家

輸出・進出の重点3分野について、各産業に精通した専門家（エキスパート）が企業訪問を通じ、展示会出展、商談、契約などについて各分野の専門的な視点から個別に支援します（利用無料・審査なし）。

農林水産・食品分野

ものづくり分野（機械・環境）

ものづくり分野（生活関連）

サービス産業分野

ヘルスケア産業分野

クールジャパン・コンテンツ分野

個別課題に対応する専門家

海外展開における実務で欠かせない各テーマについて、専門知識を有する専門家が支援します（利用無料・審査なし）。

英文貿易実務指導

基準・認証

電子商取引

高度外国人材の活用

外国人顧客の接客

安全対策

海外情報調査

●情報提供のサポート

A2

輸出／進出先の規制・認証情報を知りたい

JETRO 海外の基準・認証に関する情報提供

欧州や中国、インドの基準・認証制度の最新動向、タイ、ベトナム、インドネシアの強制規格、各国の電波法への適合等に関する最新情報を提供しています。

無

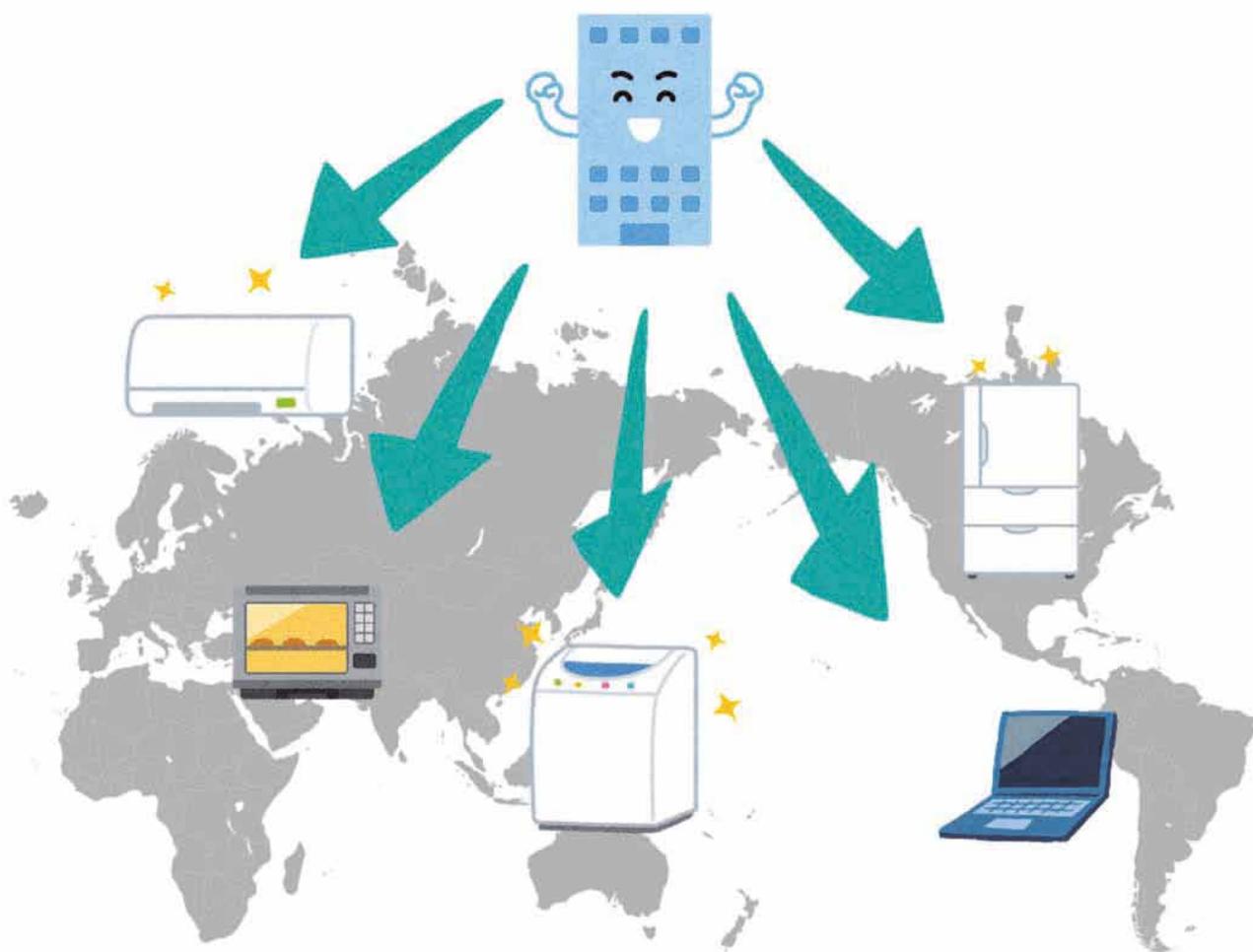
料

い

つ

で

も



もっと詳しく知りたい方はこちら！気になったらGo！

経産省 標準化・認証取得支援ポータル

検索



規格を作りたい 企業の方

①ニーズを一言で

②支援
概要

③費用

④支援に要する期間／時間

⑤オススメのご利用時期

● 専門家によるサポート

B1

自社の優れた技術が市場で際立つような規格を作りたい

経産省 新市場創造型標準化制度

尖った技術があるものの、

- ・企業1社等で業界内調整が困難な場合、
- ・複数の産業界にまたがる場合、
- ・新市場創造又は拡大が見込まれる場合に、

無

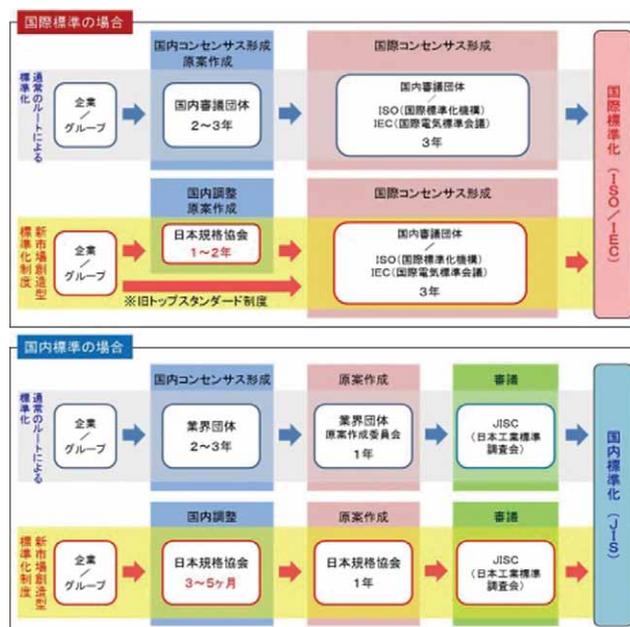
料

半年～2年程

いつでも

従来の業界団体を通じたコンセンサス形成を経ずに、日本規格協会が業界団体に代わり標準原案作成や業界調整のサポートを行い、迅速に標準化を行います。標準原案の作成に係る費用(委員会開催、技術調査、試験等)や国際会議出席に係る費用は、国の予算から支出します。

※本制度のほか、経産省が民間団体・企業等に委託して国際標準(ISO/IEC)・JISの原案作成・提案を行う事業を実施しており、同様に上記費用は国の予算から支出します。



B2 まずは身近な場で相談したい

経産省 標準化活用支援パートナーシップ制度

全国47都道府県に置かれた「標準化活用支援パートナー機関」へご相談いただくと、日本規格協会の標準化アドバイザー派遣により、全国どこでも標準化活用に関する専門支援を受けることができます。

また、知財総合支援窓口との連携により、特許や技術の秘匿化に関するアドバイスもワンストップで受けることが可能です。

無 料

面 談 1 ~ 2 h

い つ で も

● その他のサポート

B3 海外の国際標準化会議に出たい

経産省 国際標準化会議への派遣支援

- ①議長、国際幹事
- ②議長、国際幹事の候補人材
- ③これから標準化活動に関わる若手人材

を対象に、国の予算により国際標準化会議への派遣支援を行っています。

全 額 支 援

※支給基準の範囲内。

例年12月頃、国内審議団体等に対して次年度の派遣案件を調査

※予算の執行状況により夏頃に追加の派遣案件を調査をすることがあります。

もっと詳しく知りたい方はこちら！気になったらGo！

経産省 標準化・認証取得支援ポータル

検索



標準化・認証について 学びたい 企業の方

①ニーズを一言で

②支援
概要



③費用



④支援に要する期間／時間



⑤オススメのご利用時期

●研修によるサポート

C1 国際標準化活動に必要な交渉術を身に付けたい

経産省 ヤングプロフェッショナル研修

ISO、IEC等の国際標準化会議で日本提案を英語でリードできる人材を育成する講座を開催しています。

無 料

7 h × 4 日 間

例年5、11月頃募集

C2 目的・レベルに応じた標準化のセミナーを受けたい

日本規格協会 各種セミナー

標準化に関する各種の公開研修、通信講座、社内研修、海外研修、eラーニング等を開催しています。

有 料

随 時 募 集

C3 標準化活動の資格を取りたい

日本規格協会 標準化人材登録制度

研修で標準化の専門知識を身に付け、試験に合格すると得られる①「規格開発エキスパート補」資格と、さらに標準化活動実績を積んで登録できる②「規格開発エキスパート」資格があります。

有 料

①4日間／②所定の経験

随 時 募 集

C4 諸外国の動向に関するセミナーを受けたい

JETRO 各種セミナー

中国やASEANなどの標準化動向やCEマーク等の認証取得、標準化活用による海外展開などルール形成戦略に関する啓発セミナーを開催しています。

無料(一部有料)

随 時 募 集

C5 ルール形成戦略について学びたい

経産省 国際ルール形成戦略研修

ルール形成戦略について、その重要性をはじめ、ロビイング・規制と標準化の組み合わせ・認証の活用などの具体的な手法を、豊富な事例とともに学ぶ研修を年2回実施しています。

無 料

2 h × 6 日 間

例年1、3月頃募集

●情報提供のサポート

C6 標準化・認証についてweb上で学びたい

経産省 標準化実務入門

幅広い分野が包含される標準化知識を体系的に整理し、効率的に学べるテキストをwebで公開しています。

無 料

い つ で も

C7 標準化・認証について書籍で学びたい

日本規格協会 参考書籍(JSA Webdesk)

規格や標準化関係の書籍を購入できます。

有 料

い つ で も

●その他のサポート

C8 実際に会議に出て標準化活動のノウハウを学びたい

経産省 日本開催の国際標準化会議へのオブザーバー参加

国際標準化活動を行うための専門知識やノウハウを持った人材を育成するため、日本開催会議へのオブザーバー参加を受け入れています。

無 料

対象会議開催1ヶ月前まで

もっと詳しく知りたい方はこちら！気になったらGo！

経産省 標準化・認証取得支援ポータル

検索



経営課題から支援策を逆引き

自社技術が際立つ規格を作りたい	アドバイザーが業界調整や規格原案作成をサポートします	B1
海外で勝負したい	各国で必要な認証取得について専門家がアドバイスします	A1
頼れる社員を育てたい	各種セミナー、教材やOJTの機会を用意しています	C
地域の中小企業を支援したい	日本規格協会と連携するパートナー機関を募集しています	B2
とにかく何ができるか聞いて見たい	各都道府県にある相談窓口で、ワンストップで相談できます	B2

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

経済産業省 基準認証戦略室が
御社に最適な支援策をご紹介します

03-3501-9232